

プレスリリース | 2025年6月12日



山崎直子 / SIAF2027アドバイザー

©NASA

2027年1月～2月開催 札幌国際芸術祭2027

テーマは「PLANET SNOW—upas mintar / upas nociw」

アドバイザーに宇宙飛行士の山崎直子氏が就任

札幌国際芸術祭(SIAF)は、3年に一度、札幌で世界の最新アート作品を紹介する、特別なアートイベントです。本芸術祭では毎回テーマを設定し、そのテーマに呼応する作品やプログラムを選定・紹介しています。このたび札幌国際芸術祭実行委員会(会長:秋元克広[札幌市長])は、SIAF2027ディレクターチームと共に、2027年1月～2月に開催する札幌国際芸術祭2027(Sapporo International Art Festival 2027 略称:SIAF2027)のテーマを決定しました。

SIAF2027のテーマは「PLANET SNOW—upas mintar / upas nociw」です。

札幌をひとつの星、プラネット・スノーに見立て、そこに暮らす人類の営みや歴史・文化、そして未来の在り方など、その星に広がりうる世界を探求します。また、この物語に宇宙科学の視点をもたらす役割として「SIAF2027アドバイザー」を新設し、宇宙飛行士であり札幌市青少年科学館名誉館長の山崎直子氏を選任しました。

前回の芸術祭では「LAST SNOW」というテーマのもと、アート、サイエンス、テクノロジーが交差する作品やプロジェクトを通し、市民や企業とともに未来を考察しました。その延長線上に位置付けられるSIAF2027では、異なる領域やジャンルとの「アートの掛け算」をさらに拡張させ、さまざまな立場の方々と育む札幌ならではの芸術祭を深化させていきます。

今年度のプログラムやイベントもいよいよスタートします。本格始動する札幌国際芸術祭2027に、是非ご期待ください。

お問い合わせ

札幌国際芸術祭実行委員会 担当:杉本・阿部島

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌時計台ビル10階

電話:011-211-2314(平日 8:45~17:15) Fax:011-218-5157 E-mail:press@siaf.jp

SIAF2027ディレクターチーム メッセージ

ようこそ、プラネット・スノーへ。

2027年、白い雪に包まれる札幌国際芸術祭は、未来の人類と宇宙を巡る壮大な物語の舞台となります。

激動の時代において、私たちはどんな未来を望み、どのように歩いていくのでしょうか。アーティスト、市民と共に「人類」「地球」「宇宙」を再考し、雪の星、雪の惑星という自由で創造的な場を通じて、未来への行動を呼びかけること。それが、SIAF2027のテーマ、PLANET SNOWに込めた思いです。

私たち「人類」はこれまでどのような歩みを重ね、「地球」という惑星に存在してきたのでしょうか。

パンデミックの経験、社会の分断、絶え間ない争い、技術革新の加速、そして地球規模で進行する気候変動。人類が進歩する一方で、環境や大地に大きな影響を与えたこの時代だからこそ、私たちのいる場所「地球」が「宇宙」に存在していることを意識し、まだ見ぬ未来と「宇宙」に繋がる豊かな創造力を持って、どんな「人類」でありたいかを一緒に考えていきたいと思えます。

ウパシ ミンタラ / ウパシ ノチウ——これは、日本の先住民族として独自の文化を育んできたアイヌの人々の言葉です。ウパシは雪、ミンタラは庭、ノチウは星を意味します。

これらの言葉は、芸術祭が、多様な人々が集い共創する「雪の庭」「雪の星」となり、過去から未来へと繋がる希望の道しるべとなることを示唆しています。また、札幌で暮らす人にとってのプラネット・スノーはミンタラであり、遠くから訪れる人にとってはノチウであるという異なる視点も含有しています。まさにSIAF2027のビジョンと広がりそのものです。

プラネット・スノーの世界で、みなさんとの新たな創造の旅を、心より楽しみにしています。

SIAF2027ディレクターチーム 小川秀明(クリエイティブディレクター) 細川麻沙美(フェスティバルディレクター)
漆 崇博(スクールディレクター) 丸田知明(スタジオディレクター)

SIAF2027アドバイザー メッセージ

SIAF2027アドバイザーに就任いたしました宇宙飛行士の山崎直子です。

私は子どもの頃に札幌で暮らしていて、その時に見上げた星空を、今でも鮮明に覚えています。星空を眺めながら、宇宙の広さや美しさに心を惹かれ、「宇宙の先には何があるのだろう」と想像を膨らませました。SIAF2027のテーマは「PLANET SNOW」です。札幌の豊かな雪景色と、宇宙に浮かぶ惑星としての地球という壮大なイメージが重なり、とてもワクワクしています。

どうぞ楽しみにお待ちください。

山崎直子 宇宙飛行士／札幌市青少年科学館名誉館長

千葉県松戸市生まれ。幼稚園年長から小学校2年生まで札幌市に在住。1999年現宇宙航空研究開発機構(JAXA)の宇宙飛行士候補者に選ばれ、2001年認定。2004年ソユーズ宇宙船運航技術者、2006年スペースシャトル搭乗運用技術者の資格を取得。2010年4月スペースシャトル・ディスカバリー号に搭乗、国際宇宙ステーション(ISS)組立補給ミッションSTS-131に従事。2011年8月JAXA退職後、内閣府宇宙政策委員会委員・部会委員、一般社団法人Space Port Japan代表理事、公益財団法人日本宇宙少年団(YAC)理事長、札幌市青少年科学館名誉館長、女子美術大学客員教授、環境問題解決のための英国王立財団設立「アースショット賞」評議員などを歴任。

SIAF2027ディレクターチーム

小川秀明

クリエイティブディレクター

担当：ディレクターチーム統括／SIAF2027テーマ・コンセプト

1977年東京都生まれ オーストリア・リンツ市在住
オーストリア・リンツ市を拠点とする世界的な文化・芸術機関であるアルスエレクトロニカの研究開発部門、フューチャーラボの芸術監督・マネージングディレクター。
SIAF2024ではディレクターを務めた。

細川麻沙美

フェスティバルディレクター

担当：SIAF2027開催基本方針／広報戦略

1977年東京都江東区生まれ 北海道札幌市在住
テレビ局での展覧会制作・運営や、企画・展示業務を中心としたフェスティバル事務局への従事を経て、SIAF2014から札幌国際芸術祭に関わり、SIAF2024では未来劇場(東1丁目劇場施設)における展覧会企画を担当。

漆 崇博

スクールディレクター

担当：教育機関との連携／生涯学習プログラム

1977年北海道石狩市生まれ 北海道石狩市在住
一般社団法人AISプランニング代表理事。北海道内でのアーティスト・イン・スクール事業をはじめとしたアートと社会をつなぐ担い手として活動。SIAF2014から札幌国際芸術祭に関わり、SIAF2024ではSIAFスクール事業を担当。

丸田知明

スタジオディレクター

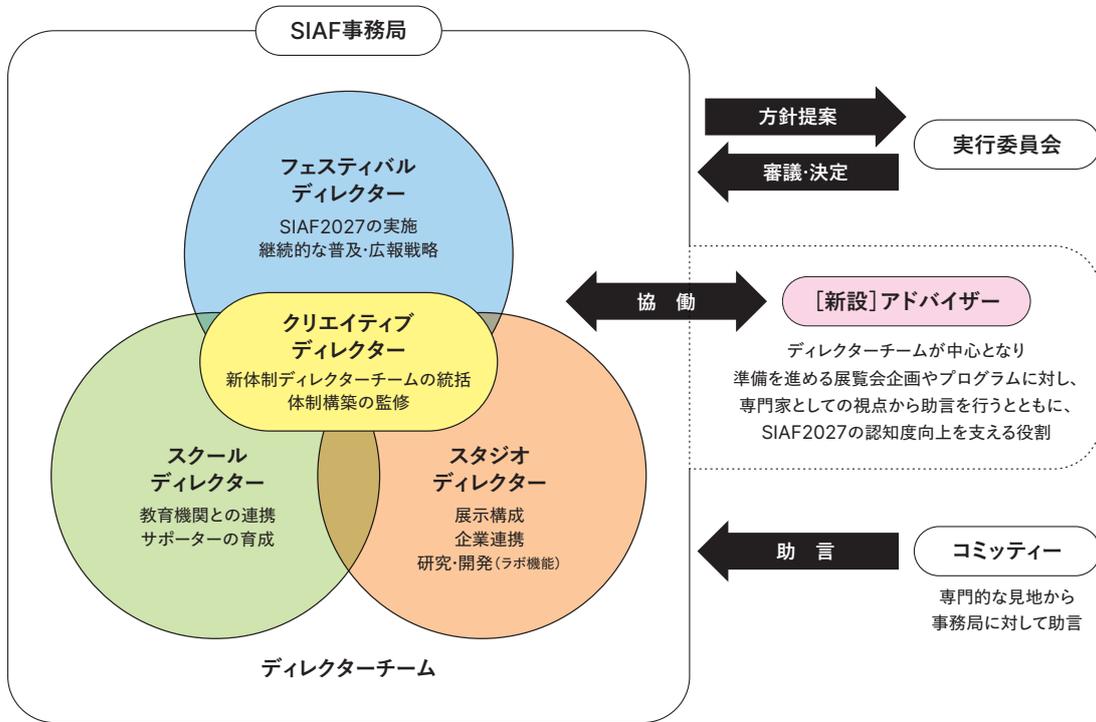
担当：会場構成／企業および地域団体との連携

1976年愛知県岡崎市生まれ 北海道札幌市在住
丸田知明建築設計事務所代表。SIAF2017からアーキテクト(建築設計)スタッフとして札幌国際芸術祭に関わり、各会場の図面制作や現場監督、作品制作にかかるサポートなどを担当。あいちトリエンナーレ2016・2019、国際芸術祭あいち2022・2025においても同様の役割を担っている。



左から
漆 崇博、細川麻沙美、
小川秀明、丸田知明

組織体制図



札幌国際芸術祭2027 開催概要 (2025.6.12現在)

名称	札幌国際芸術祭2027 (日本語) Sapporo International Art Festival 2027 (英語) ウサ モシリ ウン アシカイ ウタラ サッポロ オッタ ウエカラバ Usa Mosir un Askay utar Sapporo otta Uekarpa 2027 (アイヌ語)
略称	サイアフ SIAF2027
テーマ	ブラネット・スノー PLANET SNOW ウバシ ミンタラ ウバシ ノチウ upas mintar / upas nociw
会期	2027年1月～2月
ディレクターチーム	小川秀明 (クリエイティブディレクター) 細川麻沙美 (フェスティバルディレクター) 漆 崇博 (スクールディレクター) 丸田知明 (スタジオディレクター)
アドバイザー	山崎直子
アイヌ文化コーディネーター	マユンキキ
アートディレクター&デザイナー	ワビサビ / 白井宏昭
主催	札幌国際芸術祭実行委員会 / 札幌市

2025年度のプログラム

2025年6月20日に開催する札幌国際芸術祭2027 キックオフカンファレンスを皮切りに、さまざまなプログラムやイベントを実施します。

6月	<ul style="list-style-type: none">・ SIAF2027 キックオフカンファレンス ※詳細は下記をご覧ください・ ふむふむサポーター募集開始(予定) SIAF2027において来場者をサポートするふむふむサポーターを募集します
夏	<ul style="list-style-type: none">・ 市内小中学校での出前授業開始(秋まで継続) アーティストや企業と共同開発したプログラムを札幌市内小中学校における出前授業として実施します・ 青木美歌《未生命の遊槽》を巡るトークイベント(仮) SIAF2024での展示をきっかけに北海道立近代美術館に収蔵された作品《未生命の遊槽》。本作にまつわるトークイベントを開催します
秋	<ul style="list-style-type: none">・ 地下歩行空間でのイベント 札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)で開催されるイベントにおいて、アートとユニバーサルデザイン・ユニバーサルサービスの関係を考えるトークイベントやブース出展を実施します
冬	<ul style="list-style-type: none">・ SIAF2027 会場・企画など詳細発表、冬季イベント実施

札幌国際芸術祭2027 キックオフ カンファレンス

日時：2025年6月20日(金) 第1部 16:00~17:30 (17:00からは交流会) / 第2部 18:30~20:00

会場：札幌市図書・情報館 1F サロン(札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ内)

各回参加費無料・定員50名(要事前申込)

第1部(16:00-17:30) | 未来を共創する：企業×芸術祭の新たな実験



Sony Design in collaboration with HIRAKAWA Norimichi
《INTO SIGHT at SIAF2024》
平川紀道《雪花譚 / six-petal automata》
Photo by MOMMA Yusuke

SIAF2024における芸術祭と企業のイニシアティブ・プロジェクトを振り返るとともに、クリエイティブディレクターの小川秀明がオーストリアの文化機関であるアルスエレクトロニカで実践する多彩なイノベーション事例を紹介し、さらに、既存の枠組みを超えた未来志向のプロトタイピングや、社会との新たな接点創出について、各ディレクターから展望をお話しします。

スピーカー：

SIAF2027ディレクターチーム(小川秀明、細川麻沙美、漆 崇博、丸田知明)

※17:00からは登壇者との交流・情報交換の場とする予定です。



詳細：<https://siaf.jp/p20366>

第2部(18:30-20:00) | ここから始動! 札幌国際芸術祭2027 最新情報トークセッション



SIAF2024 未来劇場における学校招待の様子
Photo by KUSUMI Erika

SIAF2027のテーマや山崎直子氏のアドバイザー就任など最新情報をお伝えするとともに、2023年にスタートしたSIAFスクールでの実践を振り返りながら、SIAF2027に向けて市民がどのように関わり、どのような価値を共に創出できるのかを考えます。

スピーカー：

SIAF2027ディレクターチーム(小川秀明、細川麻沙美、漆 崇博、丸田知明)

NPO法人 ezorock、ふむふむサポーター



詳細：<https://siaf.jp/p20729>